

来年度市予算 暮らし守れ 市長に要望

共産党市議団は22日、山仲市長に対して、『2019年度野洲市予算に関する要望書』を提出しました。全体で55項目の要望で市民のみなさんから寄せられたものです。実現に向けてがんばります。以下、主なものをご紹介します。(文章は編集)

- ◆公共施設のあり方は、単にコストだけでなく、まちづくりの観点から利活用し、市民の立場にたった視点で進めること
- ◆低所得者に負担となる消費税10%増税の中止を国に求められること
- ◆医療費の無料化を中学校3年生まで、拡大されること
- ◆滋賀県の「子ども食堂」補助金打ち切りに反対し撤回を求められること。野洲市としても子ども食堂に支援されること
- ◆国に生活保護費引き下げの撤回を求めること。今年7月から生活保



解体方針が決まった中主ふれあいセンター



預かり保育専用保育室の要望が強い北野幼稚園

護受給者にエアコンの設置が扶助対象にされたが、4月以前は対象でなく、不公平が生じている。すべての生活保護受給者に対して、エアコンが扶助対象にされるよう要望されること

- ◆北野幼稚園の預かり保育を専用の保育室で実施されること
- ◆就学援助制度を生活保護基準の1.5倍に引き上げられること
- ◆高校生に対する給付奨学金を国の制度を待たずに創設すること。大学生に対する給付奨学金の月額3000円の増額を行うこと

- ◆中主小学校及び北野小学校のグラウンドは凸凹がひどく、暗渠排水管の更新・改修をされること
- ◆マンモス化した養護学校を解消へ、新設を県に求められること。国に対しては設置基準を決めることを求められること
- ◆FTA二国間協議は、農業及び暮らしと経済を破壊させるものであり、国に交渉の中止を求められること
- ◆原発の再稼働反対と再生エネルギーへの転換を国に求められること
- ◆日本が核兵器禁止条約に批准するよう国に求められること



野洲駅北口から市三宅への交差点。北野小学校通学路であり信号機が必要(この件は一般質問で)

福祉・医療・教育・産業・平和など、55項目の要求

定例会市議会 11月29日から

定例会市議会は、29日から12月21日まで開催されます。現在、市予算の編成時期でもありまして、大事な議会となります。一般質問は12月6～10日です。ご意見をお寄せください。

定例会では補正予算や条例制定改廃など23案件が提案されます。来年4月から循環バス路線増(安治コース、希望が丘コース)に伴うコミセンバス運行条例の改正。また、工場敷地の緑地面積を規定する条例改正では、工業地域及び市街化調整区域の緑地面積率を現行20%から10%にするもので環境のまちを標榜する野洲市として問題ある提案がされます。共産党市議団は暮らし守る市政へがんばります。

定例会市議会の主な日程です

- 11月29日(木) 本会議(開会、市長提案の議案説明)
- 12月6日(木) 本会議(議案質疑、一般質問)
- 7日(金) 本会議(一般質問)
- 10日(月) 本会議(一般質問=予備日)
- 11日(火) 予算委員会分科会、常任委員会=総務
- 12日(水) 予算委員会分科会、常任委員会=文福
- 13日(木) 予算委員会分科会、常任委員会=環経建
- 19日(水) 予算常任委員会
- 21日(金) 本会議(議案の討論・採決)

※会議時間は午前9時から。21日の本会議のみ午後1時

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2018年11月25日 No.330

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
 東郷正明 比江864 (電話・FAX)589-4158
 工藤義明 小篠原879 (電話・FAX)588-1856

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索